

被爆80周年「平和のシネマテーク」関連上映

地域ドキュメンタリーで ふりかえる被爆80年



1958年から活動する「広島エイト倶楽部」は8mmやビデオで制作するアマチュア映像作家集団です。
その作品群から被爆80年の節目に、平和をテーマとしたドキュメンタリー作品を特集します。(4作品・80分)
主催／広島エイト倶楽部、広島市映像文化ライブラリー

2025年7月10日(木)①14:00～ ②18:00～ 入場無料

ちちをかえせ ははをかえせ

1982(昭和57)年 29分 カラー 制作／広島エイト倶楽部

広島エイト倶楽部の会員にも被爆者は多い。被爆の実相を当事者として生々しく語る共同制作作品。



千羽鶴

1997(平成9)年 17分 カラー 制作／日高道德

1995年に日米合同で子どもたちが参加した舞踏劇『千羽鶴』の広島公演に続いて、1997年に子どもたちが渡米したアメリカ公演の撮影をまとめた。



地図から消された島

2014(平成26)年 19分 カラー 制作／松田治三

大久野島には、戦時中に日本軍の毒ガス製造工場があった。工場で働いた人や戦後に後遺症治療にあたった医師などの証言を記録した。



爆心地の寺

2006(平成18)年～2024(令和6)年 再編集版 15分 カラー

制作／佐々木博光

原爆ドームのすぐ脇にある西向寺では、原爆の熱線により表面が溶けた墓石が残っている。2000年にビルに建て替えられたが、爆心地の寺を受け継ぐ高松秀峰住職を取材した作品。



※上映作品の中には、映像・音声が良好ではないものがあります。

【アフタートーク】 14:00からの上映終了後、作品にまつわるトークを開催します。(約30分)
トークゲスト／日高道德、松田治三、佐々木博光(広島エイト倶楽部)



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日：月曜日(祝日は開館)、祝日の振替日、臨時休館(令和7年10月1日～)

